

水産業強化支援事業事後評価報告書

		千葉県	
政策目的		水産業経営の強化	
政策目標		経営構造改善目標	整理番号 29-1
事業実施主体		東安房漁業協同組合	
実施地区名		千葉県南房総市千倉町	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		平成29年度	平成31年度
交付金額		135,092千円	
事業計画の内容		<p>東安房漁協は、千倉漁港をはじめ9か所の産地市場を開設しているが、漁業者の減少や高齢化、水産資源の減少などに伴い市場毎の取扱量が減少し、各市場における価格形成力が低下しているため、市場の統廃合など拠点化により水揚物の集約化を進めるとともに、高品質で安全な水産物を供給するため、品質・衛生管理対策の推進など、産地機能の充実・強化を図る必要がある。</p> <p>そこで、24時間供給可能な自動製氷施設を整備することにより利便性の向上や、水揚物の高鮮度化による価格の向上を図るとともに、省エネ機器の導入により製造コストを削減し、氷供給価格に還元することで、漁業経費の削減に繋げる。</p>	
評価	成果目標	当該地区の浜の活力再生プランの数値目標のうち、当該施設整備により得られる氷供給価格の削減効果等により、「漁業所得の13%向上」を目標とした。	
	現状値	漁業所得●●●千円	
	目標値	漁業所得●●●千円	
	(1) 現状値の説明	漁業所得の実績値については、水揚金額の増加（115%）及び氷供給価格の低下による漁業経費の削減（6%）により、目標値を大きく上回った。	
	(2) 地域への経済効果（ハード事業のみ）	<ul style="list-style-type: none"> ・製氷コストの削減により、従来と比較して氷の供給価格を約2割安く提供することが可能となった。 ・24時間いつでも氷の供給が可能となったほか、大型運搬車両や漁船へ直接積込めるようになり、利便性が向上した。 	
	(3) 所見	自動製氷施設の整備により、地域の拠点となる市場として、高品質で安全な水産物を供給する役割の強化が図られたと考える。	
(4) 評価機関の意見等			
今後の改善方向等に関する分析		自動製氷施設の整備により、漁業所得の向上に繋がったことから、引き続き当該効果を継続させるとともに、高品質で安全な水産物を供給する、地域の拠点となる市場機能の充実が重要と考える。	